



## 運賃計算の基本

1. 全旅程は、原則として「往路と復路の2つのコンポーネント」に分けて（片道旅行を除く）それぞれの運賃を算出し、2つを合算して全旅程の運賃とする。
2. コンポーネントには、「旅行経路 (GI)」に合致する運賃を適用する。(P14)
3. 旅行形態が RT、OJ、CT の場合、往路と復路のコンポーネントには「1/2 往復運賃」を適用する。旅行形態が OW の場合にのみ、片道運賃を適用する。(P44)
4. コンポーネント内に中間地点がある場合「マイレージ計算」を行う。(P54)
5. コンポーネント内に途中降機地点がある場合「HIP チェック」を行う。(P65)

## 第1項：マイレージ計算と運賃計算

### ★★★ 1. マイレージ計算

- コンポーネントに中間地点（途中降機地点・乗り継ぎ地点）がある場合、各都市間の TPM の合計と始点～終点間に設定された MPM を比較する。これをマイレージ計算（マイレージシステム）という。（中間地点を含まない2都市間のみの旅程の場合は、マイレージ計算は不要である。）
- マイレージ計算で算出された運賃を、コンポーネントの「通し運賃」という。

#### (1) TPM（区間マイル = Ticketed Point Mileage）

航空券に記載される各地点を「ティケティッドポイント」といい、その都市間の直行距離（マイル）を「TPM」という。

#### (2) MPM（最大許容マイル = Maximum Permitted Mileage）

マイレージ計算を行う際に、コンポーネントに適用する直行運賃で旅行可能な最大限の（最大許容）距離（マイル）を「MPM」という。

旅行経路 (GI - P14) により、適用する MPM の数値は異なるので、実際の旅行経路に沿った、始点～終点間の MPM を適用する。

#### (3) 超過マイル率 (Factor)

コンポーネントの TPM の合計と MPM を比較した結果

- ① TPM の合計が MPM の範囲内 (TPM 合計 < MPM) のときは、始点～終点間の運賃を、そのままコンポーネントの「通し運賃」とすることができる。
- ② TPM の合計が MPM を超える (TPM 合計 > MPM) ときは (マイレージアップ = Mileage Up という)、運賃の割り増しを行って、コンポーネントの通し運賃としなければならない。

この場合「TPM の合計 ÷ MPM」の計算で、超過マイル率 (Factor) の数値を求

めるが、この超過マイル率 (Factor) の数値をそのまま運賃の割り増し率としてはならない。=以下の表に従って運賃の割り増し率を決定する。

#### (4) 運賃割増率 (EMS = Excess Mileage Surcharge)

運賃割増率は「マイレージサーチャージ (Mileage Surcharge)」または「超過マイル追加料金」とも呼ばれる。

- ① TPM 合計 ÷ MPM で求めた超過マイル率 (Factor) をそのまま運賃割増率とするのではなく、下記表に従い、適用する運賃の割り増し率を決定する。
- ② 運賃の割り増し率は、5%ごとの5段階で設定されており、マイレージ計算の結果の数値が超過マイル率 (Factor) の範囲を 0.001%でも超える場合は、Factor より上位の5%単位の割増率 (Factor を5%単位の切り上げる)を適用する。

(例1) Factor が 1.0253...の場合⇒運賃割増率は 1.05 (105%) を適用

(例2) Factor が 1.1516...の場合⇒運賃割増率は 1.20 (120%) を適用

超過マイル率 (Factor) (TPM 合計 ÷ MPM)	運賃割増率 (EMS)	割増率の表示
1.00 (100%) 以内	なし (割り増しは不要)	M
$1.00 < \text{Factor} \leq 1.05$	1.05 (105%)	5M
$1.05 < \text{Factor} \leq 1.10$	1.10 (110%)	10M
$1.10 < \text{Factor} \leq 1.15$	1.15 (115%)	15M
$1.15 < \text{Factor} \leq 1.20$	1.20 (120%)	20M
$1.20 < \text{Factor} \leq 1.25$	1.25 (125%)	25M
1.25 (125%) を超える	適用不可	

- ③ TPM 合計 ≤ MPM の場合 = 直行運賃をそのまま適用する。(M)
- ④ TPM 合計 > MPM の場合 = コンポーネントに適用する通し運賃は、「直行運賃 × 運賃割増率 (EMS)」で求める。  
コンポーネントに HIP 運賃 (P65) がある場合は、その HIP 運賃の金額に運賃割増率を乗じて、コンポーネントの適用運賃とする。
- ⑤ 超過マイル率 (Factor) が 125% を超える場合、通し運賃を作ることはできない。この場合、コンポーネントを分割する、いくつかの区間をコンポーネントから除いて区間運賃として別に計算する、いくつかの区間を別冊の航空券にする、等で対処することになる。

★前頁の「運賃割増率」の表は、以下のような表となる場合がある。

[Excess Mileage Surcharge]

Divide the sum of Ticketed Point Mileages by the Maximum Permitted Mileage

If result is :		Surcharge fare by :	
Over 1.00	but not higher than 1.05		5%
	1.05	1.10	10%
	1.10	1.15	15%
	1.15	1.20	20%
	1.20	1.25	25%
	1.25		lowest combination

## 2. 運賃計算例—マイレージ計算が不要な旅程

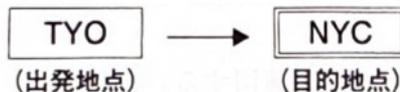
コンポーネント内に中間地点（途中降機地点や乗り継ぎ地点）がない2都市間のみの旅程の場合、マイレージ計算は不要であり、始点～終点間の直行運賃をそのまま適用する。

### (1) 片道旅行

i. 旅程例（適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃）

出発都市(コード)	到着都市(コード)	搭乗日	便名	出発	到着
[片道] TOKYO(TYO)	- NEW YORK(NYC)	06SEP24(金)	JL006	1110	- 1055

※旅程例は、上記のように区間ごとに、出発都市（コード）、到着都市（コード）、搭乗日・月・年（西暦下2桁）・曜日、便名、発着時刻の順に記載する。



- 東京（TYO）－ニューヨーク（NYC）の2都市間のみのコンポーネント。
- 出発国に戻らない一方通行の旅程でTYO発が金曜日なので片道（OW）のウィークデイ（X）運賃を適用する。

ii. JAL ビジネスクラス Flex J 運賃（TYO - NYC：抜粋）

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY			
01SEP24**01SEP24/JL TYONYC PA/MPM 8086			
FARE BASIS	OW	NUC	RT
J2X00ZN5	11840.00		J
J2X08ZN5		17670.00	J
J2W00ZN5	13210.00		J
J2W08ZN5		20330.00	J

## iii. 運賃計算

中間地点がない2都市間のみの旅程なのでマイレージ計算は不要。

TYO - NYC 間の直行便を利用する太平洋横断の旅程なので「TYO - NYC の片道 (OW) ウィークデイ (X) 運賃」の NUC 11840.00 (J2X00ZN5) が、そのまま適用運賃となる。

## iv. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

06SEP24 TYO IL NYC 11840.00 NUC11840.00END ROE100.000000  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

- ①出発日 ②始点 ③利用航空会社 ④終点 ⑤片道運賃 ⑥全旅程の運賃  
 ⑦ROE (換算レート)

## 米国行：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃・規則表 (抜粋)

名称・運賃種別	JAL ビジネスクラス Flex J 運賃
適用期間・運賃	ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用： [片道運賃] 日本国内の最終地点を出発する曜日に適用される片道運賃を適用する ・ウィークエンド (W) = 土～月 / ウィークデイ (X) = 火～金 [往復運賃] 往路：日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし 1/2 往復運賃を適用する ・ウィークエンド (W) = 土～月 / ウィークデイ (X) = 火～金 復路：北米内の最終地点を出発する曜日を基準とし 1/2 往復運賃を適用する ・ウィークエンド (W) = 金・土 / ウィークデイ (X) = 日～木
予約・発券	予約クラス：J
必要旅行日数	制限なし
最長旅行期間	12 ヶ月発・開始
途中降機	制限なし
乗り換え	制限なし
運賃計算規定	距離計算、HIP チェックを適用する

注1. 規則表の内容・適用方の詳細は「第4章：キャリア運賃」の項で解説します。

注2. 運賃にはウィークエンド (W：週末) 運賃とウィークデイ (X：平日) 運賃が設定されている場合があり、かつ運賃種別や方面によって曜日の適用基準が異なる場合がありますが、第3章の計算例は、計算簡素化のため、すべてウィークデイ (X) 運賃を適用する場合の計算例とします。

注3. 日本発の運賃は日本円運賃で設定されていますが、第3章の計算例における NUC 額へ換算するときの「ROE」は、計算簡素化のため 1 NUC = JPY 100.000000 としています。

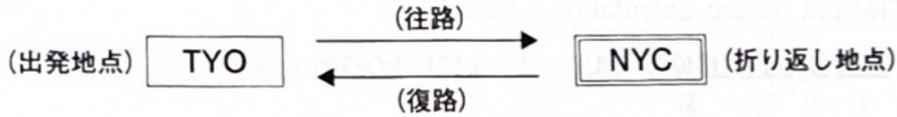
注4. ヨーロッパ行：NH Full Flex/ 普通運賃 J1 も同じ規則となります。

(2) 往復旅行

i. 旅程例 (適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃)

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- NEW YORK(NYC)	06SEP24(金)	JL006	1110	- 1055
[復路] NEW YORK(NYC)	- TOKYO(TYO)	12SEP24(木)	JL005	1310	- 1625 + 1

\* JL005 便の到着時刻「1625 + 1」は、この便が翌日 (9/13) の TYO 着であることを表す



- 折り返し地点をニューヨーク (NYC) とする、往路と復路の2つのコンポーネントで、出発地点に戻る連続した旅程=往復旅行。従って、往路は TYO 発が金曜日で復路は NYC 発が木曜日なので、ともに 1/2 ウィークデイ (X) 往復 (RT) 運賃 (J2X08ZN5) を適用する。

ii. 適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (P56)

iii. 運賃計算

- 往路と復路は、ともに TYO - NYC 間の直行便を利用する、コンポーネントに中間地点がない2都市間の旅程なので、TYO - NYC の 1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃を、マイルージ計算をすることなく、そのまま適用する。

[往路]：TYO - NYC の 1/2 往復運賃 =  $17670.00 \times 1/2 = 8835.00$  (J2X08ZN5)

[復路]：TYO - NYC の 1/2 往復運賃 =  $17670.00 \times 1/2 = 8835.00$  (J2X08ZN5)

[全旅程の運賃]：往路 8835.00 + 復路 8835.00 = NUC 17670.00

iv. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

06SEP24	TYO	JL	NYC	8835.00	JL	TYO	8835.00	NUC17670.00	END	ROE100.000000
①			②			③		④		⑤

①出発日 ②往路のコンポーネントの旅程と適用運賃 (NYC = 折り返し地点)

③復路のコンポーネントの旅程と適用運賃 (往路と復路のコンポーネントが連続している旅程の場合、復路の最初の利用キャリア (JL) から表示する。)

④全旅程の運賃 ⑤ ROE (換算レート)

### ★★★ 3. 運賃計算例—マイレージ計算が必要な旅程

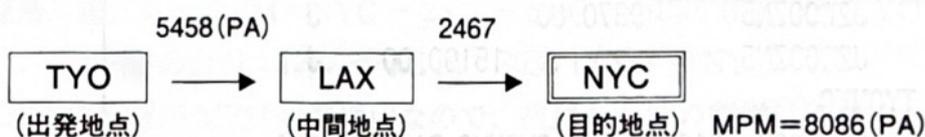
コンポーネント内に中間地点（途中降機地点や乗り継ぎ地点）がある旅程は、「マイレージ計算」を行い、始点～終点間の「通し運賃」を算出する。

マイレージ計算に用いる「TPM」は各都市間の中間に記載（日本発着の区間には併せてGIも記載）します。また適用する「MPM」は、運賃表または、下記のように目的地点である都市の右に記載します。（原則、以降の例も同様とします）

#### (1) 片道旅行

##### i. 旅程例（適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃）

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[片道] TOKYO(TYO)	- LOS ANGELES(LAX)	05SEP24(木)	JL062	1720	- 1110
LOS ANGELES(LAX)	- NEW YORK(NYC)	09SEP24(月)	AA032	1325	- 2200



- コンポーネントは TYO - LAX - NYC = 中間地点 (LAX) を含む旅程なのでマイレージ計算が必要。
- 出発国に戻らない一方通行の旅程なので、TYO - NYC の片道 (OW) のウィークデイ (X) 運賃を適用する。

##### ii. マイレージ計算と適用運賃の計算（運賃表は次頁を参照）

- 各区間の TPM：TYO - 5458 (PA) - LAX - 2467 - NYC  
TPM の合計：7925 < MPM：8086 (TYO - NYC/PA) となる。
- TPM の合計が MPM の範囲内なので運賃の割増は不要である。  
従って TYO - NYC のウィークデイ (X) 片道運賃である NUC11840.00 (J2X00ZN5) がコンポーネントに適用する運賃額となる。

##### iii. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

05SEP24 TYO JL LAX AA NYC M11840.00 NUC11840.00END ROE100.000000

- マイレージ計算を行って通し運賃としたので、運賃額の前にマイレージ計算の結果を表示する。(M = 割増無し)

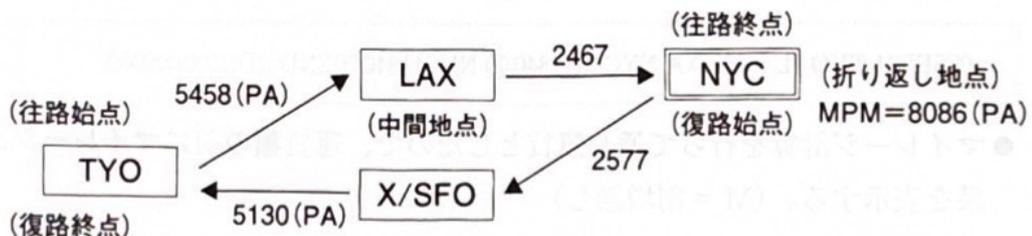
iv. JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (抜粋)

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY					
<b>TYOSFO</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYOSFO PA/MPM 6156					
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B	
J2X00ZN5	8770.00			J	
J2X08ZN5		13090.00		J	
J2W00ZN5	10250.00			J	
J2W08ZN5		15750.00		J	
<b>TYOLAX</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYOLAX PA/MPM 6549					
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B	
J2X00ZN5	8400.00			J	
J2X08ZN5		12530.00		J	
J2W00ZN5	9870.00			J	
J2W08ZN5		15190.00		J	
<b>TYONYC</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYONYC PA/MPM 8086					
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B	
J2X00ZN5	11840.00			J	
J2X08ZN5		17670.00		J	
J2W00ZN5	13210.00			J	
J2W08ZN5		20330.00		J	

(2) 往復旅行

i. 旅程例 (適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃)

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- LOS ANGELES(LAX)	05SEP24(木)	JL062	1720	- 1110
LOS ANGELES(LAX)	- NEW YORK(NYC)	09SEP24(月)	AA032	1325	- 2200
[復路] NEW YORK(NYC)	- SAN FRANCISCO(SFO)	15SEP24(日)	AA076	0600	- 0920
SAN FRANCISCO(SFO)	- TOKYO(TYO)	15SEP24(日)	JL001	1220	- 1510 + 1



- 運賃計算上の折り返し地点をニューヨーク (NYC) として、運賃計算を行う。  
※ P38 (3) 「折り返し地点」の項を参照
- 往路の LAX は滞在が 24 時間を超える途中降機地点、復路の SFO は滞在が 24 時間以内の乗り継ぎ地点である。

- 往路と復路の2つのコンポーネントで、出発地点に戻る連続した旅程なので、往路と復路には、それぞれ1/2往復 (RT) 運賃を適用する。
- 往路と復路は、ともにコンポーネント内に中間地点 (往路 LAX、復路 SFO) があるので、往路も復路もマイルージ計算が必要となる。

ii. 適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (P60)

iii. 往路と復路のマイルージ計算と適用運賃の計算

(ア) 往路：各区間の TPM：TYO - 5458 (PA) - LAX - 2467 - NYC  
TPM の合計：7925 < MPM：8086 (TYO - NYC/PA)

- TPM の合計が MPM の範囲内なので運賃の割増は不要である。

従って往路のコンポーネント (TYO - LAX - NYC) には、TYO - NYC の1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃 (J2X08ZN5) をそのまま適用する。

- 往路運賃 =  $17670.00 \times 1/2 = \text{NUC}8835.00$

(イ) 復路：各区間の TPM：NYC - 2577 - SFO - 5130 (PA) - TYO  
TPM の合計：7707 < MPM：8086 (TYO - NYC/PA)

- TPM の合計が MPM の範囲内なので、復路も運賃の割増は不要である。

従って復路のコンポーネント (NYC - SFO - TYO) も、TYO - NYC の1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃 (J2X08ZN5) をそのまま適用する。

- 復路運賃 =  $17670.00 \times 1/2 = \text{NUC}8835.00$

(ウ) 全旅程の運賃：往路 8835.00 + 復路 8835.00 = NUC 17670.00

※本旅程は出発地点 (TYO) に戻る、往路と復路の2つのコンポーネントが連続している旅程で、かつ往路と復路の運賃が同額なので、旅行形態は「往復旅行」となる。(P45)

iv. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

```
05SEP24 TYO JL LAX AA NYC M8835.00 AA X/SFO JL TYO M8835.00 NUC17670.00END
ROE100.000000
```

- 往路も復路もマイルージ計算を行って通し運賃としたので、運賃額の前にマイルージ計算の結果を表示する。(M = 割増無し)
- 復路の SFO は「乗り継ぎ地点」であることを表すために「X/」を都市コードの前に表示する。

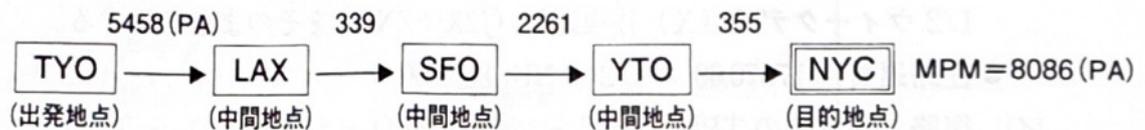
### ★★★ 4. 運賃計算例－運賃の割り増しが必要な旅程

「マイルージ計算」の結果、TPMの合計がMPMを超える（マイルージアップする）場合、その超過率（Factor）に対応する、5%刻みの「運賃割増率」を乗じて（運賃の割り増しを行って）コンポーネントの「通し運賃」を算出する。

#### (1) 片道旅行

i. 旅程例（適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃）

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[片道] TOKYO(TYO)	- LOS ANGELES(LAX)	05SEP24(木)	JL062	1720	- 1110
LOS ANGELES(LAX)	- SAN FRANCISCO(SFO)	09SEP24(月)	AA032	1325	- 2200
SAN FRANCISCO(SFO)	- TORONTO(YTO)	13SEP24(金)	AC738	1135	- 1925
TORONTO(YTO)	- NEW YORK(NYC)	16SEP24(月)	AC714	1425	- 1555



- 目的地点がニューヨーク（NYC）で、出発国に戻らない一方通行の旅程＝片道運賃を適用する。

ii. JAL ビジネスクラス Flex J 運賃（抜粋）

※ウィークエンド運賃、およびLAXとSFOの運賃は省略。

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY	ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY
TYONYC	TYOYTO
01SEP24**01SEP24/JL TYONYC PA/MPM 8086	01SEP24**01SEP24/JL TYOYTO PA/MPM 7704
FARE BASIS      OW    NUC    RT      B	FARE BASIS      OW    NUC    RT      B
J2X00ZN5      11840.00      J	J2X00ZN5      11360.00      J
J2X08ZN5                      17670.00      J	J2X08ZN5                      16950.00      J

iii. マイルージ計算と適用運賃の計算

各区間の TPM：TYO - 5458(PA) - LAX - 339 - SFO - 2261 - YTO - 355 - NYC

TPMの合計：8413 > MPM：8086 (TYO - NYC/PA)

- TPMの合計がMPMを超えるので、運賃の割増が必要となる。

超過マイル率 (Factor) =  $8413 \div 8086 = 1.0404\dots$

運賃割増率 =  $1.00 < \text{Factor} \leq 1.05$  に該当する → 割増率は 1.05 (5M) を適用。

- 従ってコンポーネント (TYO - LAX - SFO - YTO - NYC) の「通し運賃」は、TYO - NYC のウィークデイ (X) 片道 (OW) 運賃を、5%割り増しした金額となる。

- 当該片道旅程の運賃：11840.00 (J2X00ZN5) × 1.05 = NUC12432.00

iv. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

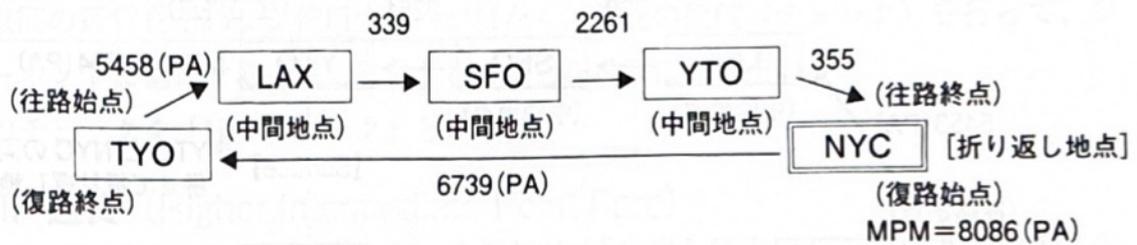
05SEP24 TYO JL LAX AA SFO AC YTO AC NYC 5M12432.00 NUC12432.00END ROE100.000000

- 運賃を割り増しして通し運賃としたので、運賃額の前にマイルージ計算の結果を表示する。(5M = 5%割増)

(2) 出発地点に戻る、連続した旅行（往復旅行または周回旅行）

i. 旅程例（適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃）

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- LOS ANGELES(LAX)	05SEP24(木)	JL062	1720	- 1110
LOS ANGELES(LAX)	- SAN FRANCISCO(SFO)	09SEP24(月)	AA032	1325	- 2200
SAN FRANCISCO(SFO)	- TORONTO(YTO)	13SEP24(金)	AC738	1135	- 1925
TORONTO(YTO)	- NEW YORK(NYC)	16SEP24(月)	AC714	1425	- 1555
[復路] NEW YORK(NYC)	- TOKYO(TYO)	19SEP24(木)	JL005	1310	- 1625 + 1



- 運賃計算上の折り返し地点：ニューヨーク（NYC）
- 往路と復路の2つのコンポーネント、出発地点に戻る、連続した旅程なので（往復旅行または周回旅行）、往路と復路はともに、1/2 往復（RT）運賃を適用する。

ii. 適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃（P62）

iii. マイレージ計算と適用運賃の計算

(ア) 往路：マイレージ計算は「(1) 片道旅行」と同じコンポーネントである。= TYO - NYC の 1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃 (J2X08ZN5) を、5% 割り増しする。

● 往路運賃 =  $17670.00 \times 1/2 \times 1.05 = \text{NUC}9276.75$

(イ) 復路：NYC - TYO の中間地点が無い（2 地点間のみの）コンポーネントなのでマイレージ計算は不要。従って、TYO - NYC の 1/2 ウィークデイ (X) 往復 (RT) 運賃 (J2X08ZN5) を、そのまま適用する。

● 復路運賃 =  $17670.00 \times 1/2 = \text{NUC}8835.00$

(ウ) 全旅程の運賃 = 往路 9276.75 + 復路 8835.00 = NUC18111.75

※本旅程は、往路と復路の運賃額が異なるので、旅行形態は往復旅行でなく「周回旅行」となる。(P46)

iv. 運賃計算情報（Fare Calculation）欄の表示

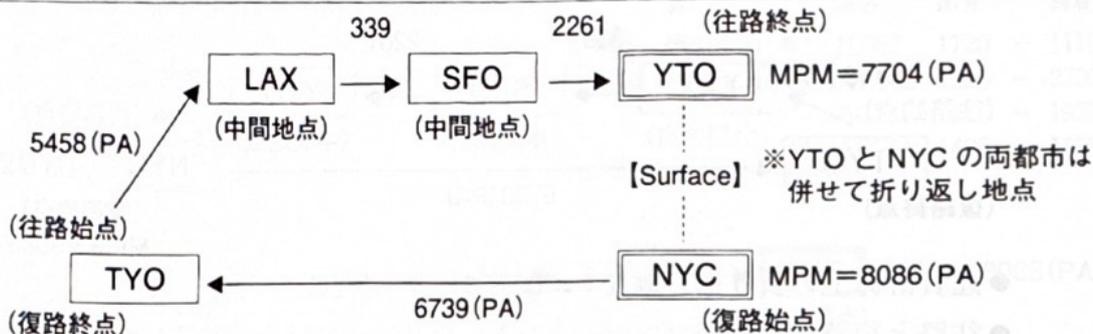
```
05SEP24 TYO JL LAX AA SFO AC YTO AC NYC 5M9276.75 JL TYO 8835.00 NUC18111.75END
ROE100.000000
```

- 往路は運賃を割り増しして通し運賃としたので、運賃額の前にマイレージ計算の結果（5M = 5% 割増）を表示する。復路はマイレージ計算が不要なコンポーネントなので運賃額のみを表示する。

(3) オープンジョー旅行

i. 旅程例 (適用運賃: JAL ビジネスクラス Flex J 運賃)

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- LOS ANGELES(LAX)	05SEP24(木)	JL062	1720	- 1110
LOS ANGELES(LAX)	- SAN FRANCISCO(SFO)	09SEP24(月)	AA032	1325	- 2200
SAN FRANCISCO(SFO)	- TORONTO(YTO)	13SEP24(金)	AC738	1135	- 1925
SURFACE(地上運送区間)					
[復路] NEW YORK(NYC)	- TOKYO(TYO)	19SEP24(木)	JL005	1310	- 1625 + 1



● 往路の終点をトロントとし、復路の始点をニューヨークとして (YTO と NYC の 2 都市間は Surface) 運賃計算を行う。

往路と復路のコンポーネントが連続しないが、出発地国である日本に戻る旅程なので「オープンジョー旅行」である。従って往路と復路には各々の 1/2 往復 (RT) 運賃が適用できる。(YTO と NYC の 2 都市は、「併せて折り返し地点」という)

ii. 適用運賃: JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (P62)

iii. マイレージ計算と適用運賃の計算

(ア) 往路: 終点が YTO なので、TYO ~ YTO 間でマイレージ計算を行う。

各区間の TPM: TYO - 5458 (PA) - LAX - 339 - SFO - 2261 - YTO

TPM の合計: 8058 > MPM: 7704 (TYO - YTO / PA)

● TPM の合計が MPM を超えるので、運賃の割増が必要となる。

超過マイル率 (Factor) =  $8058 \div 7704 = 1.0459 \dots$

運賃割増率 =  $1.00 < \text{Factor} \leq 1.05$  に該当 → 割増率は 1.05 (5M) を適用。

従って往路のコンポーネント (TYO - LAX - SFO - YTO) は、TYO - YTO の 1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃 (J2X08ZN5) を 5% 割り増しする。

● 往路運賃 =  $16950.00 \times 1/2 \times 1.05 = \underline{\text{NUC}8898.75}$

(イ) 復路: NYC - TYO の中間地点が無い (2 地点間のみの) コンポーネントなのでマイレージ計算は不要。従って、TYO - NYC の 1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃 (J2X08ZN5) を、そのまま適用する。

● 復路運賃 =  $17670.00 \times 1/2 = \underline{\text{NUC}8835.00}$

(ウ) 全旅程の運賃 = 往路 8898.75 + 復路 8835.00 = NUC 17733.75

iv. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

05SEP24 TYO JL LAX AA SFO AC YTO 5M8898.75 /-NYC JL TYO 8835.00 NUC17733.75END  
ROE100.000000

- 往路の終点と復路の始点間は Surface 区間であること、および YTO - NYC 間については運賃計算に含めていないことを表すために、往路運賃の後ろに、利用航空会社コードに変えて「/-」を表示する。「/-」の後ろから復路の始点 (NYC) を表示し、復路の運賃計算と全旅程の適用運賃を表示する。

## ★★ 5. HIP チェック (Higher Intermediate Point Check)

途中降機地点が含まれるコンポーネントにおいては、マイレージ計算に加えて、始点～終点間の運賃をそのまま使用するのではなく、下記の比較 (チェック) を行って、コンポーネントに適用する「通し運賃」を決定しなければならない。

このチェックを「HIP チェック」という。

### (1) HIP 運賃 (Higher Intermediate Point Fare)

- コンポーネントの運賃計算に用いる運賃は、「始点と終点間」の運賃と下記①～③の運賃を比較して、その中で最も高額な運賃を適用しなければならない。
- 比較の結果、始点と終点間の運賃ではなく、下記①②③のいずれかの運賃が最も高額な運賃となる場合、この運賃を「HIP 運賃」という。  
(中間高額運賃 = Higher Intermediate Fare = 「HIF」という場合もある)
- 旅行形態が往復 (RT)、周回 (CT)、オープンジョー (OJ) のときは、往復運賃 (RT) で比較する。片道 (OW) のときは、片道運賃 (OW) で比較する。
  - ① コンポーネントの「始点と中間の途中降機地点間」の運賃
  - ② コンポーネントの「中間の途中降機地点と終点間」の運賃
  - ③ コンポーネント内の「中間の途中降機地点相互間」の運賃 (注)

(注) 「特別運賃」を適用するときは、③の運賃は比較しなくてよい。(詳細は第4章を参照)

### (2) HIP チェックが不要 (対象外) なもの

以下の2つは、HIP チェックは不要 (対象外) である。

- ① コンポーネント内の「乗り継ぎ地点」まで/からの運賃。
- ② マイレージ計算の特例である「特定経路」(P74) を適用したコンポーネント。

### (3) HIP 運賃の割り増し

マイレージ計算の結果、運賃の割り増しが必要な (マイレージアップする) コンポーネントの場合、適用する HIP 運賃に運賃割増率を乗じる。

### (4) 曜日運賃があるときの HIP チェック

ウィークエンド (W) 運賃とウィークデイ (X) 運賃 (P91 - 曜日運賃) が設定されている運賃を使用するとき、コンポーネントに適用する曜日運賃がウィークエンド (W) 運賃である場合は、各都市間のウィークエンド (W) 運賃を用いて HIP チェックを行う。コンポーネントに適用する曜日運賃がウィークデイ (X) 運賃である場合は、各都市間のウィークデイ (X) 運賃を用いて HIP チェックを行う。

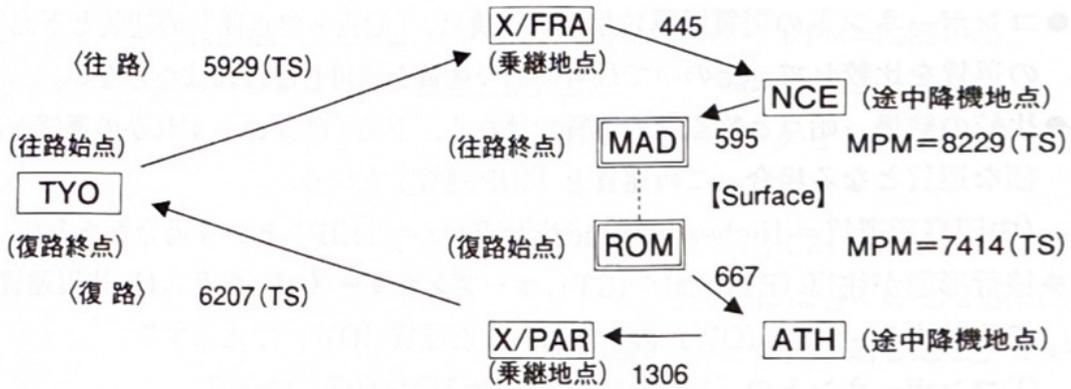
(5) HIP チェックの計算例

i. 旅程例 (適用運賃: NH Full Flex/ 普通運賃 J1)

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
(往路) TOKYO(TYO)	- FRANKFURT(FRA)	20SEP24 (金)	NH223	0940	- 1730
FRANKFURT(FRA)	- NICE(NCE)	20SEP24 (金)	LH1068	2120	- 2245
NICE(NCE)	- MADRID(MAD)	24SEP24 (火)	IB8727	1200	- 1405
鉄道(Surface 区間)					
(復路) ROME(ROM)	- ATHENS(ATH)	02OCT24(水)	AZ718	1500	- 1755
ATHENS(ATH)	- PARIS(PAR)	07OCT24(月)	AF1533	1445	- 1710
PARIS(PAR)	- TOKYO(TYO)	07OCT24(月)	NH216	1920	- 1555 + 1

◆運賃計算上の往路の終点をマドリード (MAD) とし、復路の始点をローマ (ROM) とする場合。

旅行形態は「オープンジョー」なので、往路・復路とも 1/2 往復運賃を適用する。



ii. NH Full Flex/ 普通運賃 J1 (抜粋)

※ウィークエンド運賃、片道運賃、TYO - 乗り継ぎ地点間 (FRA と PAR) の運賃は省略。  
 および EUR 内の都市間の運賃は TYO - 欧州間の運賃より低額のため省略。  
 運賃規則は P57 に準ずる

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY				
<b>TYONCE</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYONCE	TS/MPM	7689	
FARE BASIS	OW NUC RT	B		
J1XRTE1	14210.00	J		
<b>TYOMAD</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYOMAD	TS/MPM	8229	
FARE BASIS	OW NUC RT	B		
J1XRTE1	13810.00	J		
<b>TYOROM</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYOROM	TS/MPM	7414	
FARE BASIS	OW NUC RT	B		
J1XRTE1	13810.00	J		
<b>TYOATH</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYOATH	TS/MPM	7309	
FARE BASIS	OW NUC RT	B		
J1XRTE1	15010.00	J		

iii. 往路: TYO - X/FRA - NCE - MAD

[マイレージ計算]

各区間の TPM: TYO - 5929 (TS) - FRA - 445 - NCE - 595 - MAD

TPM の合計: 6969 < MPM: 8229 (TYO - MAD/TS)

→ TPM の合計は MPM の範囲内なので、運賃の割増は不要。

〔HIP チェック〕 往路の NH 国際線 (NH223) は金曜発なので、ウィークデイ (X) 運賃を適用する = ウィークデイ (X) 往復運賃で比較する

TYO - FRA (FRA は乗り継ぎ地点なので HIP チェックの対象外)

TYO - NCE (往路始点～途中降機地点) NUC 14210.00 ← HIP 運賃

TYO - MAD (往路始点～往路終点) NUC 13810.00

〔往路の適用運賃〕

TYO - NCE の運賃が HIP 運賃となるが、マイレージ計算の結果、運賃の割り増しは不要なので、HIP 運賃である TYO - NCE 間のウィークデイ (X) 往復 (RT) 運賃 × 1/2 が往路のコンポーネントの適用運賃を求める計算式となる。

→  $14210.00 \times 1/2 = \underline{\text{NUC}7105.00}$

iv. 復路：ROM - ATH - X/PAR - TYO

〔マイレージ計算〕

各区間の TPM：ROM - 667 - ATH - 1306 - X/PAR - 6207 (TS) - TYO

TPM の合計：8180 > MPM：7414 (TYO - ROM/TS)

→ TPM の合計が MPM を超えるので、運賃の割増が必要。

超過マイル率 (Factor) =  $8180 \div 7414 = 1.1033\dots$

$1.10 < \text{Factor} \leq 1.15$  に該当するので、運賃の割増率は 15% (1.15) となる。

〔HIP チェック〕 復路の NH 国際線 (NH216) は月曜発なので、ウィークデイ (X) 運賃を適用する = ウィークデイ (X) 往復運賃で比較する

TYO - PAR (PAR は乗り継ぎ地点なので HIP チェックの対象外)

TYO - ATH (復路終点～途中降機地点) NUC 15010.00 ← HIP 運賃

TYO - ROM (復路終点～復路始点) NUC 13810.00

※復路は、運賃の適用方向 (P41) と同じ方向に沿って (= 旅行方向とは逆方向) チェックする。

〔復路の適用運賃〕

TYO - ATH の運賃が HIP 運賃となり、マイレージ計算の結果、運賃の割り増しが必要となるので、HIP 運賃である TYO - ATH 間のウィークデイ (X) 往復 (RT) 運賃 × 1/2 × 1.15 が復路のコンポーネントの適用運賃を求める計算式となる。

→  $15010.00 \times 1/2 \times 1.15 = \underline{\text{NUC}8630.75}$

v. 全旅程の運賃：往路 7105.00 + 復路 8630.75 = NUC15735.75

vi. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

```
20SEP24 TYO NH X/FRA LH NCE IB MAD M TYONCE7105.00 /-ROM AZ ATH
AF X/PAR NH TYO 15M TYOATH8630.75 NUC15735.75END ROE100.000000
```

● 往路と復路はともにマイレージ計算の結果と、HIP 運賃となった区間 (往路：TYONCE、復路：TYOATH) および、適用運賃額を表示する。

## 第2項：マイレージ計算の特例

マイレージ計算には下記3つの特例がある。

1. みなし計算（サーフェス区間を含む旅程）
2. TPM Deduction（TPM 控除マイル）
3. Specified Routing（特定経路）

### ★★ 1. みなし計算

Surface 区間を含む旅程の場合、下記の2通りのマイレージ計算が可能である。

- ① 旅程の通りに（実際に搭乗する航空機利用区間のみで）マイレージ計算を行う。
- ② Surface 区間も「航空機を利用したと仮定して」（Surface 区間を含めて）マイレージ計算を行うことができる。この計算方法を「みなし計算」という。

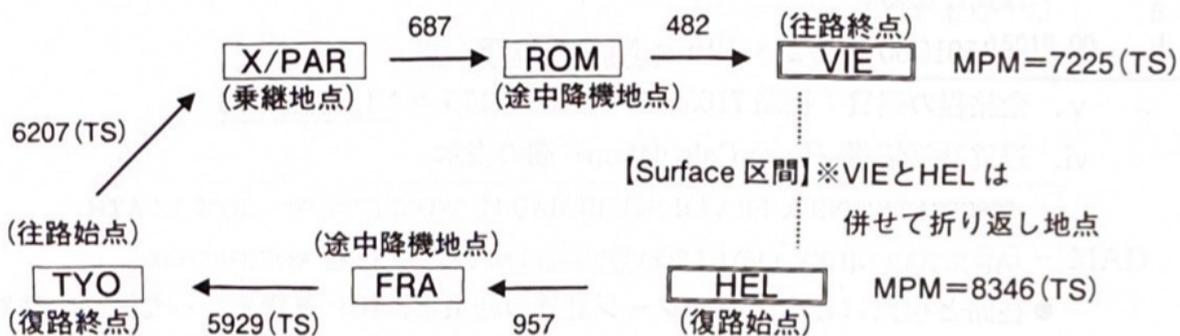
下記の旅程例は、ウィーン（VIE）とヘルシンキ（HEL）の間がSurface（地上運送区間）となっているが、マイレージ計算は「旅程の通りに計算」することも「みなし計算」をすることも可能である。

〔旅程例〕

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
〔往路〕 TOKYO(TYO)	- PARIS(PAR)	06SEP24(金)	JL045	1020	- 1755
PARIS(PAR)	- ROME(ROM)	06SEP24(金)	AF1004	2015	- 2215
ROME(ROM)	- VIENNA(VIE)	12SEP24(木)	OS502	1015	- 1155
Surface（地上運送区間）					
〔復路〕 HELSINKI(HEL)	- FRANKFURT(FRA)	16SEP24(月)	AY1415	1655	- 1835
FRANKFURT(FRA)	- TOKYO(TYO)	19SEP24(木)	JL408	1940	- 1605 + 1

#### (1) 旅程通りのマイレージ計算

ウィーンを往路の終点、ヘルシンキを復路の始点（VIE と HEL を併せて折り返し地点）とする、往路と復路のコンポーネントが連続しない「オープンジョー旅行」において、旅程通りの計算を行った場合。



## i. JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (抜粋)

※ウィークエンド運賃、片道運賃、TYO - 乗り継ぎ地点間 (PAR) の運賃は省略。

および EUR 内の都市間の運賃は TYO - 欧州間の運賃より低額のため省略。

運賃規則は P57 に準ずる。

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY						ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY					
<b>TYOROM</b>						<b>TYOHEL</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYOROM TS/MPM 7414						01SEP24**01SEP24/JL TYOHEL TS/MPM 8346					
FARE BASIS OW NUC RT B						FARE BASIS OW NUC RT B					
JNXOAOMO 14550.00 J						JNXOAOMO 14550.00 J					
<b>TYOVIE</b>						<b>TYOFRA</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYOVIE TS/MPM 7225						01SEP24**01SEP24/JL TYOFRA TS/MPM 7480					
FARE BASIS OW NUC RT B						FARE BASIS OW NUC RT B					
JNXOAOMO 14550.00 J						JNXOAOMO 14550.00 J					

## ii. マイレージ計算と適用運賃の計算

※ TYO から各都市間までの運賃は同額 (= HIP 運賃はない) なので、HIP チェックの説明は省略する

(ア) 往路：往路の終点は VIE なので、TYO ~ VIE 間のマイレージ計算を行う。

● 各区間の TPM：TYO - 6207 (TS) - PAR - 687 - ROM - 482 - VIE

TPM の合計：7376 > MPM：7225 (TYO - VIE/TS)

● TPM の合計が MPM を超えるので運賃の割増が必要。

超過マイル率 (Factor) =  $7376 \div 7225 = 1.02089\dots$

1.00 < Factor ≤ 1.05 に該当するので、運賃の割増率は 1.05 を適用。

● 往路のコンポーネントの通し運賃 (TYO - VIE の 1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃の 5% 割増)

$14550.00 \times 1/2 \times 1.05 = \underline{\text{NUC } 7638.75}$

(イ) 復路：復路の始点は HEL なので、HEL ~ TYO 間のマイレージ計算を行う。

● 各区間の TPM：HEL - 957 - FRA - 5929 (TS) - TYO

TPM の合計：6886 < MPM：8346 (TYO - HEL/TS)

● TPM の合計が MPM の範囲内なので運賃の割増は不要。

● 復路のコンポーネントの通し運賃 (TYO - HEL の 1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃)

$14550.00 \times 1/2 = \underline{\text{NUC } 7275.00}$

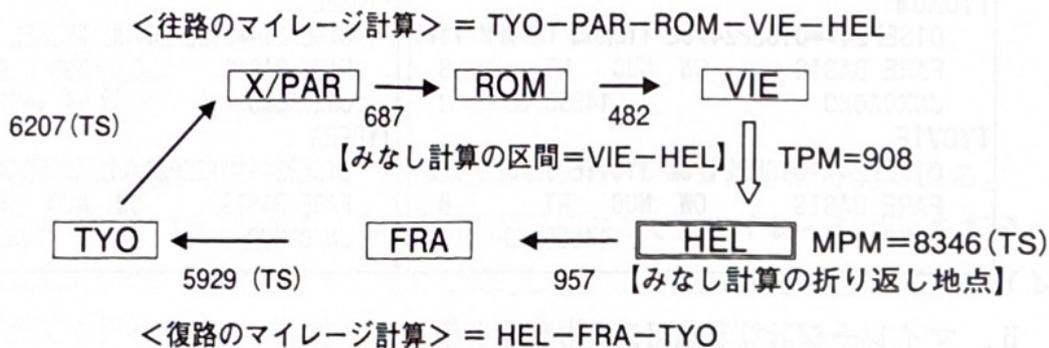
(ウ) 全旅程の運賃 = 往路 7638.75 + 復路 7275.00 = NUC 14913.75

## iii. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

```
06SEP24 TYO JL X/PAR AF ROM OS VIE 5M7638.75 /-HEL AY FRA JL TYO M7275.00
NUC14913.75END ROE100.000000
```

(2) みなし計算-1 (コンポーネントの端に Surface 区間がある場合)

前項(1)の旅程例は、以下のように VIE～HEL の Surface 区間を、航空機を利用したと仮定して、「ヘルシンキ (HEL)」を折り返し地点とするマイルージ計算の「みなし計算」をすることができる。(当該旅程では、「みなし計算」をしたほうが、旅客にとって有利な適用運賃となる。)



i. 適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (P69)

ii. マイルージ計算と適用運賃の計算

※(1)の旅程通りのマイルージ計算と同様に、TYO から各都市間までのウィークデイ (X) 運賃は同額 (= HIP 運賃はない) なので、HIP チェックの説明は省略。

(ア) 往路：HEL を折り返し地点として (VIE～HEL 間も航空機を利用したと仮定する)「みなし計算」を行う。従って往路のコンポーネントは、TYO - PAR - ROM - VIE - HEL としてマイルージ計算を行う。

TPM：TYO - 6207 (TS) - PAR - 687 - ROM - 482 - VIE - 908 - HEL

TPM の合計：8284 < MPM：8346 (TYO - HEL/TS)

● TPM の合計が MPM の範囲内なので、運賃の割増は不要である。

● 往路運賃 (TYO - HEL の 1/2 ウィークデイ (X) 往復運賃を、割り増しなしでそのまま適用することができる) = 14550.00 × 1/2 = NUC 7275.00

(イ) 復路：HEL が折り返し地点であるので、HEL - FRA - TYO のマイルージ計算である。= (1) の (イ) と同じコンポーネントである。

● 復路運賃 = 14550.00 × 1/2 = NUC 7275.00

(ウ) 全旅程の運賃 = 往路 7275.00 + 復路 7275.00 = NUC14550.00

iii. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

```
06SEP24 TYO JL X/PAR AF ROM OS VIE // HEL M7275.00 AY FRA JL TYO
M7275.00 NUC14550.00END ROE100.000000
```

● 本例は、HEL を折り返し地点として「みなし計算」を行ったので、往路の運賃額は HEL の後ろに表示する。また、VIE - HEL 間を含めたマイルージ計算と運賃計算をしたことを表すために、VIE と HEL の間に「//」を表示する。

(3) みなし計算－2 (コンポーネントの途中に Surface 区間がある場合)

コンポーネントの途中にサーフェス区間がある場合でも、みなし計算が可能である。以下は、日本に戻らない片道旅程 (= 片道運賃を適用する) の例であるが、航空機を利用する区間ごとの運賃を合計するよりも、みなし計算をしたほうが旅客にとって有利な運賃となる。

i. 旅程例 (適用運賃: JAL ビジネスクラス Flex J 運賃)

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[片道] TOKYO(TYO)	- BANGKOK(BKK)	06SEP24(金)	JL707	1820	- 2300
Surface (地上運送区間)					
KUALA LUMPUR(KUL)	- SINGAPORE(SIN)	11SEP24(水)	MH711	0900	- 1010



ii. JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (抜粋)

※ウィークエンド運賃、往復運賃は省略。および東南アジア内の都市間の運賃は TYO - 東南アジア各都市間の運賃より低額のため省略。運賃規則は P57 に準ずる。

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY <b>TYOBKK</b> 01SEP24**01SEP24/JL TYOBKK EH/MPM 3442 FARE BASIS OW NUC RT B JNX00ABA 3700.00 J <b>TYOKUL</b> 01SEP24**01SEP24/JL TYOKUL EH/MPM 4014 FARE BASIS OW NUC RT B JNX00ABA 4150.00 J	ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY <b>TYOSIN</b> 01SEP24**01SEP24/JL TYOSIN EH/MPM 3974 FARE BASIS OW NUC RT B JNX00ABA 4310.00 J
---	--

MH ビジネスクラス普通運賃 (抜粋)

ROE 3.200000 UP TO 1.00 MYR <b>KULSIN</b> 01SEP24**01SEP24/MH KULSIN EH/MPM 223 FARE BASIS OW NUC RT B J1FMH 688.70 J
---

iii. マイレージ計算と適用運賃の計算

- 旅程通り、航空機利用区間の片道運賃を合計する。

$$TYO - BKK (3700.00) + KUL - SIN (688.70) = \underline{NUC4388.70}$$

- BKK - KUL 間も航空機を利用したと仮定する「みなし計算」を行う。

TPM の合計: 3823 < TYO - SIN の MPM (3974) なので運賃の割り増しは不要。従って、みなし計算を行うことで TYO - SIN のウィークデイ (X) 片道運賃である NUC4310.00 を、この旅程の適用運賃とすることができる。

iv. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

- 旅程通りの計算 (記号: /-)

06SEP24 TYO JL BKK 3700.00 /-KUL MH SIN 688.70 NUC4388.70END ROE100.000000

- みなし計算を行った場合 (記号: //)

06SEP24 TYO JL BKK // KUL MH SIN M4310.00 NUC4310.00END ROE100.000000

## 2. TPM Deduction (TPM 控除マイル)

コンポーネントの両端（始点と終点）が特定の都市（国・地域）で、指定された都市を経由する旅程の場合、マイルージ計算の際に、TPM の合計から一定のマイル数を引いて MPM と比較することができる。この規則を「TPM Deduction (TPM 控除マイル)」という。日本発着の旅程の運賃計算に適用される TPM Deduction には 2 種類ある。

いずれも発と着が逆のコンポーネント（逆方向の旅程）も適用可能である。

### (1) DEL・BOM 経由、ISB・KHI 経由のコンポーネント

下記表に該当するコンポーネントの場合、TPM の合計から「700 マイル」を引いて (Mileage Deduction) MPM と比較することができる。注意点は下記のとおり。

- ①コンポーネントの両端は、「Between」と「And」の都市であること。
- ②コンポーネントに、「Via」（指定経由地）の都市が含まれていること。
  - 指定経由地以外の中間都市がコンポーネントに含まれていても可。
  - 指定経由地およびその他の中間都市は、途中降機でも乗り継ぎでも可。

#### Area3

Between	And	Via	Mileage Deduction
Area 3 (注 1)	DEL または BOM KHI または ISB 上記以外の Area3 (注 1)	DEL 行は BOM、BOM 行は DEL KHI 行は ISB、ISB 行は KHI DEL と BOM の両都市 (注 3) KHI と ISB の両都市 (注 3)	700 マイル

#### Between Area3 and Area2

Between	And	Via	Mileage Deduction
Area 3 (注 2)	中東の都市	DEL と BOM の両都市 (注 3) KHI と ISB の両都市 (注 3)	700 マイル

(注 1) 両端が南アジア亜大陸 (P13) の都市は適用対象外。

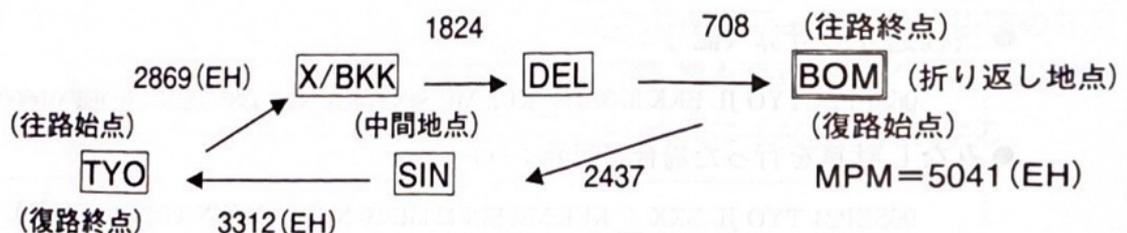
(注 2) 南西大西洋地域 (P13) の都市は適用対象外。

(注 3) 両都市がコンポーネントに含まれている（経由地である）ことが必要。ただし控除マイル数は 700 マイルのみ。（2都市分としてマイナス 1400 マイルとすることはできない）

#### i. 旅程例（適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃）

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- BANGKOK(BKK)	06SEP24(金)	JL031	1120	1540
BANGKOK(BKK)	- DELHI(DEL)	06SEP24(金)	TG315	2040	2340
DELHI(DEL)	- MUMBAI(BOM)	08SEP24(日)	A1865	1000	1205
[復路] MUMBAI(BOM)	- SINGAPORE(SIN)	11SEP24(水)	SQ421	0845	1640
SINGAPORE(SIN)	- TOKYO(TYO)	15SEP24(日)	JL038	0150	0950

◆運賃計算上の折り返し地点をムンバイ (BOM) とする場合。



ii. JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (抜粋)

ROE 100.000000	UP TO 100.00	JPY
TYOBOM		
01SEP24**01SEP24/JL	TYOBOM EH/MPM	5041
FARE BASIS	OW NUC RT	B
JNXONABA	10400.00	J

※ウィークエンド運賃と片道運賃は省略。および TYO - DEL、TYO - SIN 間の運賃は TYO - BOM の運賃より低額のため省略。また TC3 内の都市間の運賃は TYO - BOM 間の運賃より低額のため省略。運賃規則は P57 に準ずる。

iii. 運賃計算

①往路と復路の2つのコンポーネントで、出発地点に戻る連続した旅程なので、往路と復路は、ともに1/2ウィークデイ (X) 往復運賃を適用する。(HIP 運賃はない)

②往路の旅程 (TYO - X/BKK - DEL - BOM)

●マイルージ計算：TPM 計は 5401、TYO - BOM の MPM は 5041 なので、通常であれば運賃の割り増し (10M) が必要となるが、「Between」「And」「Via」の各都市が当該規則の条件に合致する旅程である。さらに指定経由地以外の中間都市 (BKK) も、コンポーネントに含むことができる。= TPM の合計 5401 マイルから 700 マイルを引いて MPM と比較することができる。

$5401 - 700 = 4701 < MPM5041$  となるので、運賃の割り増しは不要。

●往路運賃： $10400.00 \times 1/2 = \underline{NUC 5200.00}$

③復路の旅程 (BOM - SIN - TYO)

●マイルージ計算：復路は「Via」の都市 (DEL) が含まれていないので、TPM Deduction 規則の条件に合致しないコンポーネントである。従って通常のマイルージ計算を行わなければならない。

TPM 合計は  $5749 > TYO - BOM$  の MPM は 5041 なので、運賃の割り増しが必要。超過マイル率 (Factor) は  $5749 \div 5041 = 1.1404 \dots \rightarrow 1.10 < factor \leq 1.15$  なので、運賃割増率は 1.15 を適用。

●復路運賃： $10400.00 \times 1/2 \times 1.15 = \underline{NUC 5980.00}$

④全旅程の運賃：往路 (5200.00) + 復路 (5980.00) = NUC11180.00

iv. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

06SEP24 TYO JL X/BKK TG E/DEL AI BOM M5200.00 SQ SIN JL TYO 15M5980.00  
NUC11180.00END ROE100.000000

●往路は TPM Deduction を適用したので、指定経由地 (DEL) の都市コードの前に「E/」を表示する。

(2) DPS 行のコンポーネント

Area3

※具体的な運賃計算例は省略

Between	And	Via	Mileage Deduction
DPS (デンバサール・バリ)	TYO または OSA	JKT (*)	70 マイル

〈\*〉 JKT 以外の都市を含むことは不可。および JKT は乗り継ぎに限定される。

### ★★ 3. Specified Routing (特定経路)

コンポーネントの運賃計算を行うとき、指定された経路に沿った旅程であれば、マイレージ計算とHIPチェックをすることなく、始点～終点間の直行運賃をそのまま適用できる特定の経路がある。これを「Specified Routing (特定経路)」という。日本発着の旅程の運賃計算に適用される Specified Routing には3種類ある。

いずれも発と着が逆のコンポーネント (逆方向の旅程) も適用可能である。

適用にあたっての注意点は下記のとおり。

- ①コンポーネントの両端 (始点と終点) は、表中の「Between」と「And」の都市に限定される。
- ②コンポーネントの中間地点は、表中の「Via」の都市 (指定経由地) に限定される。
  - 指定経由地以外の都市を、コンポーネントに含めることはできない。
  - 指定経由地は、途中降機でも乗り継ぎでも可。
- ③経由 (Via) の記号について

「/」 = OR … 例：(1) 「SEA行」の LAX/SFO

Via は、LAX または SFO のいずれか1都市に限る。

「-」 = AND・OR … 例：(2) TC2 「CAI行」の MNL - BKK

Via は、MNL と BKK の両都市、またはどちらか1都市だけでも可。ただし Via の都市の順序を変えることはできない。

#### (1) シアトル (アメリカ) 行のコンポーネント

Between Area 1 and Area 3 via Pacific (PA)

Between	And	Via
SEA	Japan	LAX / SFO (* )

(\* ) Via (経由) は LAX または SFO のいずれか1都市のみ

##### i. 旅程例：運賃計算上の折り返し地点はシアトル (SEA)

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- LOS ANGELES(LAX)	06SEP24(金)	JL062	1720	- 1110
LOS ANGELES(LAX)	- SEATTLE(SEA)	08SEP24(日)	AS479	1200	- 1448
[復路] SEATTLE(SEA)	- SAN FRANCISCO(SFO)	11SEP24(水)	UA842	1230	- 1445
SAN FRANCISCO(SFO)	- TOKYO(TYO)	15SEP24(日)	JL001	1220	- 1510 + 1

◆運賃計算上の折り返し地点をシアトル (SEA) とする場合。



## ii. JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (抜粋)

※ウィークエンド運賃、片道運賃は省略。および米国内の都市間の運賃は TYO - 米国間の運賃より低額のため省略。運賃規則は P57 に準ずる。

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY	ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY
<b>TYOLAX</b>	<b>TYOSFO</b>
01SEP24**01SEP24/JL TYOLAX PA/MPM 6549	01SEP24**01SEP24/JL TYOSFO PA/MPM 6156
FARE BASIS OW NUC RT B	FARE BASIS OW NUC RT B
J2X08ZN5 12530.00 J	J2X08ZN5 13090.00 J
<b>TYOSEA</b>	
01SEP24**01SEP24/JL TYOSEA PA/MPM 5730	
FARE BASIS OW NUC RT B	
J2X08ZN5 12720.00 J	

## iii. 適用運賃の計算

- ①往路と復路の2つのコンポーネントで、出発地点に戻る連続した旅程なので、往路と復路には、それぞれ1/2ウィークデイ(X)往復運賃を適用する。
- ②往路と復路のコンポーネントは、Specified Routingの条件に合致するので、往復ともマイレージ計算とHIPチェックは不要となる。従って往路と復路はともにTYO - SEAの1/2ウィークデイ(X)往復運賃をそのまま適用することができる。

- 往路運賃：12720.00 × 1/2 = NUC6360.00
- 復路運賃：12720.00 × 1/2 = NUC6360.00
- 全旅程の運賃：往路(6360.00) + 復路(6360.00) = NUC 12720.00

## 【参考】

- ① Specified Routingを適用しないと、往路と復路は、ともに運賃の割り増しが必要となる。さらに復路はHIP運賃の適用も必要となる。

- 往路：TPM計：6414 > MPM：5730 (TYO - SEA/PA) = 15M
- 復路：TPM計：5809 > MPM：5730 (TYO - SEA/PA) = 5M

- ② Specified Routingの規則を適用できない旅程例は以下のとおり。

- TYO - LAX - SFO - SEA - YVR - TYO

上記旅程で、SEAを運賃計算上の折り返し地点にして計算する場合、往路はTYO - LAX - SFO - SEA (Via都市がLAXとSFOの2つ)、復路はSEA - YVR - TYO (YVRが経由地となっている)のコンポーネントとなるので、往路と復路は、ともにSpecified Routingは適用不可である。従って当該旅程については、LAX、SFO、SEA、YVRのいずれかの都市を折り返し地点として、通常のマイレージ計算とHIPチェックを行なわなければならない。

## iv. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

06SEP24 TYO JL LAX AS SEA 6360.00 UA SFO JL TYO 6360.00 NUC12720.00END ROE100.000000

- 往路と復路はともにSpecified Routingを適用したので、NUC額のみ表示する。(マイレージ計算を行っていないので、適用運賃額の前のMは不要)

(2) TC2 行のコンポーネント

Between Area 3 and Area 2

Between	And	Via	*具体的な運賃計算例は省略
TYO	CAI	MNL - BKK	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Via は MNL、BKK の 2 都市で可 (どちらか 1 都市でも可)</li> <li>・ Via の都市順は変えられない</li> <li>・ 適用旅程例：逆方向も同じ TYO - MNL - BKK - CAI TYO - MNL - CAI TYO - BKK - CAI</li> </ul>
TYO	KWI	MNL/BKK	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Via は MNL または BKK のいずれかの 1 都市のみ</li> </ul>

(3) TC3 内のコンポーネント

Area 3

Between	And	Via	*具体的な運賃計算例は省略
FUK	BJS	SHA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Via は SHA のみ</li> </ul>
TYO	BJS	OSA - NGS - SHA (注)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Via は OSA、NGS、SHA の 3 都市で可 (2 都市、1 都市でも可)</li> <li>・ Via の都市順は変えられない</li> <li>・ 適用旅程例：逆方向も同じ TYO - OSA - NGS - SHA - BJS TYO - NGS - SHA - BJS TYO - SHA - BJS</li> </ul>
OSA	BJS	NGS - SHA (注)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Between、And、Via およびコンポーネントの都市順などの取り扱いは上記と同じ</li> </ul>
SDJ	BJS	OSA - SHA (注)	
TYO	LYP/KHI/ISB/LHE/MUX/PEW	MNL - BKK	
TYO/OSA/NGO	DEL	BKK	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Via は BKK のみ</li> </ul>
SPK	SEL	TYO/NGO	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Via は TYO または NGO のいずれかの 1 都市のみ</li> </ul>

(注) 当該特定経路におけるコンポーネント内の Via (指定経由地) 都市での「途中降機」は、1 都市 (コンポーネント内で 1 回のみ) に限定される。

覚えるポイント

<p>全旅程の運賃</p>	<p>●全旅程の運賃は「往路」と「復路」の2つのコンポーネントに分けて計算し、合算したものを全旅程の運賃とする。(除・片道)</p>
<p>コンポーネントの運賃</p>	<p>●コンポーネント内に中間地点がある場合はマイルージ計算を行う。                  ①運賃の割増しの要・不要を確認する。                  ②マイルージ計算の特例の有無をチェックする。                  ●始点～終点(折り返し地点)の適用運賃を算出する。                  ①旅行の経路(GI)に沿ったMPMと運賃額を選択する。                  ②往路と復路のコンポーネントには、1/2往復運賃を適用する。(除・片道)                  ③途中降機地点がある場合は、HIPチェックを行う。</p>
<p>マイルージ計算</p>	<p>●マイルージ計算が不要な場合。                  コンポーネント内に中間地点がないときは、直行運賃をそのまま適用する。                  ●マイルージ計算が必要な場合。                  コンポーネント内に中間地点がある場合は、マイルージ計算を行う。                  ①コンポーネントの始点～終点の「TPM合計」と「MPM」を比較する。                  ・TPM = 区間マイル (Ticketed Point Mileage)                  ・MPM = 最大許容マイル (Maximum Permitted Mileage)                  ②TPM合計がMPMの範囲内の場合、始点～終点間の適用直行運賃を、そのまま通し運賃とすることができる。                  ③計算の結果、TPM合計 &gt; MPMとなる(マイルージ・アップ)場合                  ・超過マイル率 (TPM合計 ÷ MPM = Factor) を計算する。                  ・超過マイル率をそのまま運賃割増率(EMS)にするのではなく、5%刻みの5段階の上位の(= Factorを5%単位に切り上げて)運賃割増率にして、これを適用する直行運賃に乗じてコンポーネントの通し運賃とする。</p>
<p>HIPチェック</p>	<p>●コンポーネント内に途中降機地点がある場合、マイルージ計算に加えて「HIPチェック」も行う。(始点と終点間の直行運賃をそのまま適用運賃とはしない。)                  ・以下の4つの直行運賃を比較して、その中で最も高額な直行運賃をコンポーネントの適用運賃としなければならない。                  (乗り継ぎ地点まで/からの運賃は比較の対象外となる)                  ①始点と終点間の運賃                  ②始点と途中降機地点間の運賃                  ③途中降機地点と終点間の運賃                  ④途中降機地点相互間の運賃                  ・マイルージ計算の結果、運賃の割り増しが必要(TPM合計 &gt; MPM)となる場合は、適用するHIP運賃を割り増しする。</p>
<p>マイルージ計算の特例</p>	<p>●みなし計算                  ・サーフェス区間を含む旅程(サーフェスがコンポーネント内にある、または折り返し地点間にある)の場合、当該Surface区間も航空機を利用したと仮定して、マイルージ計算を行うことができる。                  ●TPM deduction (TPM控除マイル)                  ・指定された都市(地区)を経由し、指定された目的地(方面)へのコンポーネントの場合、TPMの合計から所定のマイルを引いて、MPMと比較することができる。                  ①DEL、BOM、ISB、KHI経由第3地区または中東行 700マイル                  ②JKT経由DPS行(経由地・目的地とも限定) 70マイル                  ●Specified Routing (特定経路)                  ・指定された(特定の)経路に沿ったコンポーネントの場合、マイルージ計算とHIPチェックを行わずに、直行運賃をそのまま適用することができる。                  ①TC1行: SEA行(LAXまたはSFO経由)                  ②TC2行: CAI、KWI行など                  ③TC3行: 中国、韓国行など</p>

理解度チェックー5

(解答は P.155 ~ 159)

第8問. 以下のコンポーネントのマイレージ計算を行い、運賃の割り増しが不要な場合は「M」で、また運賃の割増が必要な場合は「5M ~ 25M」で答えなさい。

(旅行経路に注意。なお各区間は直行便を利用する。)

問1. TYO - 5929 - FRA - 884 - MAD - 651 - PAR

(TYO ~ PAR の MPM = TS 7448 / EH 9535 / AP 11534)

解答:

問2. TYO - 1823 - HKG - 5699 - AKL - 464 - CHC

(TYO ~ CHC の MPM = EH 7148)

解答:

問3. TYO - 6739 - NYC - 3360 - LIS

(TYO ~ LIS の MPM = TS 8533 / EH 9987 / AP 11635)

解答:

問4. TYO - 6220 - LON - 395 - FRA - 3845 - NYC

(TYO ~ NYC の MPM = PA 8086 / AT 12504)

解答:

問5. TYO - 3312 - SIN - 6532 - AMS - 771 - BCN

(TYO ~ BCN の MPM = TS 8017 / EH 9309 / AP 12068)

解答:

問6. TYO - 5130 - SFO - 1468 - DFW - 1115 - MIA - 1095 - NYC

(TYO ~ NYC の MPM = PA 8086 / AT 12504)

解答:

第9問 下記の適用条件に基づき、各設問に答えなさい。

1. 旅程

	出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路]	TOKYO(TYO)	- NEW YORK(NYC)	10SEP24(火)	JL004	1825	- 1820
	NEW YORK(NYC)	- BOSTON(BOS)	16SEP24(月)	AA2161	1200	- 1315
[復路]	BOSTON(BOS)	- CHICAGO(CHI)	19SEP24(木)	AA736	1000	- 1200
	CHICAGO(CHI)	- TOKYO(TYO)	22SEP24(日)	JL009	1300	- 1610 + 1

2. クラス・人員：ビジネスクラス・大人1名
3. 適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃
4. 運賃計算上の折り返し地点：ボストン (BOS)
5. 各区間の TPM：

TYO - 6739 (PA) - NYC - 186 - BOS - 862 - CHI - 6283 (PA) - TYO

6. 各都市の MPM：運賃表に記載する
7. 運賃表 (抜粋)：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (抜粋)

※ウィークエンド運賃、片道運賃は省略。および米国内の都市間の運賃は TYO - 米国間の運賃より低額のため省略。運賃規則は P57 に準ずる。

```

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY
TYONYC
01SEP24**01SEP24/JL TYONYC PA/MPM 8086
FARE BASIS      OW  NUC  RT    B
J2X08ZN5                17670.00  J
TYOBOS
01SEP24**01SEP24/JL TYOBOS PA/MPM 8040
FARE BASIS      OW  NUC  RT    B
J2X08ZN5                17670.00  J
TYOCHI
01SEP24**01SEP24/JL TYOCHI PA/MPM 7539
FARE BASIS      OW  NUC  RT    B
J2X08ZN5                16950.00  J
    
```

問1. 往路のコンポーネント (TYO - NYC - BOS) に適用する運賃額を「NUC 額」で答えなさい。

解答：NUC

問2. 復路のコンポーネント (BOS - CHI - TYO) に適用する運賃額を「NUC 額」で答えなさい。

解答：NUC

問3. 往路と復路の運賃計算の結果、この全旅程の旅行形態を2文字のアルファベット略号で答えなさい。

解答：

第 10 問. 下記の適用条件に基づき、各設問に答えなさい。

1. 旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- LOS ANGELES(LAX)	05SEP24(木)	JL062	1720	- 1110
LOS ANGELES(LAX)	- NEW YORK(NYC)	09SEP24(月)	AA238	1000	- 1820
Surface(地上運送区間)					
[復路] WASHINGTON(WAS)	- MIAMI(MIA)	13SEP24(金)	AA391	0800	- 1050
MIAMI(MIA)	- SEATTLE(SEA)	16SEP24(月)	AA305	1900	- 2240
SEATTLE(SEA)	- TOKYO(TYO)	18SEP24(水)	JL067	1230	- 1600 + 1

2. クラス・人員：ビジネスクラス・大人 1 名
3. 適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃
4. 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の終点をニューヨーク (NYC)、  
復路の始点をワシントン (WAS) とするオープンジョー旅行
5. 各区間の TPM：TYO - 5458 (PA) - LAX - 2467 - NYC  
WAS - 923 - MIA - 2722 - SEA - 4775 (PA) - TYO
6. 各都市の MPM：運賃表に記載する
7. 運賃表 (抜粋)：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (抜粋)

※ウィークエンド運賃、片道運賃は省略。および米国内の都市間の運賃は TYO - 米国間の運賃より低額のため省略。運賃規則は P57 に準ずる。

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY					
<b>TYONYC</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYONYC PA/MPM 8086					
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B	
J2X08ZN5		17670.00	J		
<b>TYOWAS</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYOWAS PA/MPM 8114					
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B	
J2X08ZN5		17670.00	J		
<b>TYOMIA</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYOMIA PA/MPM 8938					
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B	
J2X08ZN5		18360.00	J		

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY					
<b>TYOLAX</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYOLAX PA/MPM 6549					
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B	
J2X08ZN5		12530.00	J		
<b>TYOSEA</b>					
01SEP24**01SEP24/JL TYOSEA PA/MPM 5730					
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B	
J2X08ZN5		12720.00	J		

問 1. 往路のコンポーネント (TYO - LAX - NYC) に適用する運賃額を「NUC 額」で答えなさい。

解答：NUC

問 2. 復路のコンポーネント (WAS - MIA - SEA - TYO) に適用する運賃額を「NUC 額」で答えなさい。

解答：NUC

第11問. 下記の適用条件に基づき、各設問に答えなさい。

1. 旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- LONDON(LON)	01NOV24(金)	NH211	0955	- 1540
LONDON(LON)	- BUDAPEST(BUD)	03NOV24(日)	BA868	0805	- 1135
Surface(地上運送区間)					
[復路] WARSAW(WAW)	- NICE(NCE)	06NOV24(水)	LO343	1615	- 1845
NICE(NCE)	- PARIS(PAR)	10NOV24(日)	AF7313	0600	- 0735
PARIS(PAR)	- TOKYO(TYO)	13NOV24(水)	NH216	1830	- 1610 + 1

2. クラス・人員：ビジネスクラス・大人1名

3. 適用運賃：NH Full Flex/ 普通運賃 J1

4. 運賃計算上の折り返し地点：往路の終点をブダペスト (BUD) とし、復路の始点をワルシャワ (WAW) とするオープンジョー旅行

5. 各区間の TPM：TYO - 6220 (TS) - LON - 913 - BUD - 336 - WAW - 864 - NCE - 426 - PAR - 6207 (TS) - TYO

6. 各都市の MPM：運賃表に記載する

7. 運賃表 (抜粋)：NH Full Flex/ 普通運賃 J1 (抜粋)

※ウィークエンド運賃、片道運賃は省略。また欧州内の都市間の運賃は TYO - 欧州間の運賃より低額のため省略。運賃規則は P57 に準ずる。

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY				
<b>TYOLON</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYOLON	TS/MPM	7468	
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B
J1XRTE1		13810.00		J
<b>TYOBUD</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYOBUD	TS/MPM	7104	
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B
J1XRTE1		13810.00		J
<b>TYOWAW</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYOWAW	TS/MPM	7488	
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B
J1XRTE1		13810.00		J

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY				
<b>TYONCE</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYONCE	TS/MPM	7689	
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B
J1XRTE1		15010.00		J
<b>TYOPAR</b>				
01SEP24**01SEP24/NH	TYOPAR	TS/MPM	7448	
FARE BASIS	OW	NUC	RT	B
J1XRTE1		13810.00		J

8. 運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示

※表示の一部は設問上「\*\*\*」で伏せて、

01NOV24 TYO NH LON BA BUD ( ① ) / - WAW LO NCE AF PAR NH  
 TYO ( ② ) NUC\*\*\*.\*\*END ROE100.000000

## 運賃計算

問 1. 往路の運賃が運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の①に表示されます。①に表示すべき「マイルージ計算の結果」「適用運賃額 (NUC 額)」のすべてを答えなさい。

※運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示は P81 の 8. を参照。

解答：

問 2. 復路の運賃が運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の②に表示されます。②に表示すべき「マイルージ計算の結果」「HIP チェックの結果、どの都市間の運賃を適用したか」「適用運賃額 (NUC 額)」のすべてを答えなさい。

※運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示は P81 の 8. を参照。

解答：

問 3. この全旅程に適用する「日本円の運賃額」はいくらになるか答えなさい。ROE は、1 NUC = JPY100.000000 とする。

解答：JPY

第 12 問. 前問 (第 11 問) の旅程で、運賃計算上の折り返し地点をワルシャワ (WAW) にして、マイルージの「みなし計算」を行うと、e チケットの運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄は以下のように表示されます。

この Fare Calculation に基づき、下記の設問に答えなさい。

<運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の表示>

※表示の一部は設問上「\*\*\*」で伏せてある

01NOV24 TYO NH LON BA BUD / /WAW ( ① ) LO NCE AF PAR NH  
TYO \*\*\*\*\* NUC\*\*\*\*\*END ROE100.000000

問 1. 往路の運賃が運賃計算情報 (Fare Calculation) 欄の①に表示されます。みなし計算を行った時の、①に表示すべき「マイルージ計算の結果」「適用運賃額 (NUC 額)」のすべてを答えなさい。

解答：

問 2. みなし計算を行った結果、全旅程に適用する運賃額を「NUC 額」で答えなさい。

解答：NUC

第13問. 下記の適用条件に基づき、各設問に答えなさい。

1. 旅程

出発	到着	搭乗日	便名	出発	到着
[往路] TOKYO(TYO)	- LOS ANGELES(LAX)	05SEP24(木)	JL062	1720	- 1110
LOS ANGELES(LAX)	- SEATTLE(SEA)	09SEP24(月)	AS549	0850	- 1150
[復路] SEATTLE(SEA)	- SAN FRANCISCO(SFO)	13SEP24(金)	UA698	0945	- 1200
SAN FRANCISCO(SFO)	- VANCOUVER(YVR)	16SEP24(月)	AC563	1000	- 1221
VANCOUVER(YVR)	- TOKYO(TYO)	18SEP24(水)	JL017	1405	- 1625 + 1

2. クラス・人員：ビジネスクラス・大人1名

3. 適用運賃：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃

4. 運賃計算上の折り返し地点：シアトル (SEA)

5. 各区間の TPM：TYO - 5458 (PA) - LAX - 956 - SEA - 679 - SFO -  
800 - YVR - 4681 (PA) - TYO

6. 各都市の MPM：運賃表に記載する

7. 運賃表 (抜粋)：JAL ビジネスクラス Flex J 運賃 (抜粋)

※ウィークエンド運賃、片道運賃は省略。および北米内の都市間の運賃は TYO - 北米間の運賃より低額のため省略。運賃規則は P57 に準ずる。

ROE 100.000000 UP TO 100.00 JPY
<b>TYOLAX</b>
01SEP24**01SEP24/JL TYOLAX PA/MPM 6549
FARE BASIS OW NUC RT B
J2X08ZN5 12530.00 J
<b>TYOSEA</b>
01SEP24**01SEP24/JL TYOSEA PA/MPM 5730
FARE BASIS OW NUC RT B
J2X08ZN5 12720.00 J
<b>TYOSFO</b>
01SEP24**01SEP24/JL TYOSFO PA/MPM 6156
FARE BASIS OW NUC RT B
J2X08ZN5 13090.00 J
<b>TYOYVR</b>
01SEP24**01SEP24/JL TYOYVR PA/MPM 5617
FARE BASIS OW NUC RT B
J2X08ZN5 12930.00 J

8. Specified Routing (抜粋)

スペシファイドルーティング (特定経路) に該当する旅程であれば、マイルージ計算やHIPチェックをすることなく、始点～終点間の運賃をそのまま適用できる。

Between Area 1 and Area 3 via Pacific (PA)

Between	And	Via (※)
SEA	Japan	LAX/SFO

※ Via (経由) は LAX または SFO のいずれか 1 都市のみ

問 1. 往路のコンポーネント (TYO - LAX - SEA) に適用する運賃額を「NUC 額」で答えなさい。

解答：NUC

問 2. 復路のコンポーネント (SEA - SFO - YVR - TYO) に適用する運賃額を「NUC 額」で答えなさい。

解答：NUC